



秋田県立
能代高校
東京同窓会

会 報

No. 7

事務局

〒164

東京都中野区中央5-7-1

株友和

TEL.03-3383-2111



校 歌

文 学 博 士 藤村 作詩
東京音楽学校教授 岡野貞一作曲

一、そのわみはくわ域潤く

尽きせぬ流れ米代の

水に我等の誓はーき

若き生命と讃へー

若き生命と讃へー

二、み空にひびく日本海

沖より寄す巨濤の

巖うんでく勢に

強き力を学びー

強き力を学びー

三、平和の相樽子山

常盤の緑地に

映えて我等の麗はーき

清き操をたぐへー

清き操をたぐへー

四、薫も高き学び舎の

象徴をかかげひたすらに

学びの道と究めーや

奮へ松陵我が健児

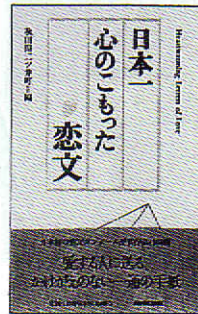
奮へ松陵我が健児

能代高校東京同窓会のあゆみ

年度	日/時	出席数	招待数	あゆみ
昭32				後藤氏など有志の方々が、東京支部の形で活動始める
41				毎年総会を開催し、同窓生の親睦を図ることを決定
48				斬新なる理想に燃えた有志が、会の発展にテコ入れ開始
50				卒業生のための東京宿泊所を作るなど、革新的な意見が出る
51				○役員改選 ●名誉支部長 腰山（前支部長） ●支部長 板倉（前副支部長） ●副支部長 塚本，柳谷
53	10/13	78		○会則一部改正 ○茗溪会館に感謝状贈呈
54	10/21	62		○名簿作成
55	9/27	56	4	○8月末現在名簿登録者425名
56	10/ 3	85	5	○能代高校東京同窓会と改称 ○役員改選 ●名誉会長 腰山 ●会長 板倉 ●副会長 後藤，吉田，河田，相沢，栗原，太田，高谷 ●会計監事 村井，八柳 ●事務局長 小林
57	10/ 2	93	7	
58	10/ 1	88	5	○名簿作成 ○役員改選
59	10/ 6	76	5	
60	10/18	100	6	○役員改選
61	10/ 3	124	4	○山田敬三氏講演 ○能代北高，能代工高同窓生を招待
62	10/ 2			○役員改選 ○会報第1号発行
63	10/ 7	121	15	○斎藤忠生氏講演 ○名簿作成 ○会報第2号発行
平成元	10/ 6	203	15	○役員改選 ○山田久志氏講演 ○同窓会本部より東京同窓会に同窓会会旗が贈呈される ○茗溪会館に感謝状を贈呈 ○会報第3号発行
2	10/ 5	151	11	
3	10/ 5	131	13	○10周年記念総会 ○高橋正太郎氏講演 ○役員改選 ●会長 小林 ●副会長 近藤，太田，菅原 ●会計監事 村井 ●事務局長 八柳 ●会報編集長 杉崎 ●顧問 腰山，板倉 後藤 ○会則一部改正 ○会報第4号発行 ○この年より総会は本年度母校卒業生歓迎会を兼ねる
4	10/ 2	136	26	○鈴木裕美子選手オリンピック出場記念講演 ○能代市内各高校同窓生を来賓として招待 ○会報第5号発行
5	10/ 1			○渡辺博栄氏講演 ○新名簿作成 ○会報第6号発行 ○役員改選
6	10/ 7	137	22	○関根市男氏講演 ○岩森榮助氏アトラクション・バリトンリサイタル

あけましておめでとございませす

年賀とも寒中見舞いともつかない時期になつてしまいました。言い訳ではありませんが、二ツ井町にある県立自然公園きみまち坂にちなんだ「きみまち全国恋文コンテスト」の審査に思いのほか手間取りまして、どなたにも失礼さしていただききました。その審査も終わり、さる一月十三日町役場で審査発表会が行われました。全国から寄せられた恋文の七千三十五通という数にまず驚きました。実に感動的な数字でした。それぞれに何十年もの間、言えなかつたであろうこと、胸につかえていたはずのことが切々と伝わってくるのでした。



能代高校や二ツ井高校で永年教師を勤めた私は、非常にたくさんの方の生徒の作文に目を通してきました。そしていつも生徒の作品の中に一行でも半句でもいいところはないだろうか、という気持ちで見えてきました。そういう立場で人の文章を見てきた私が、だれも代弁できない大切な本心に、あるいはその人のかけがえのない歴史に、どうして優劣などつけられましようか。

とはいうもののコンテストでもあり、百一点を選んでNHK出版から一冊の本として出版するという企画もありますので、審査委員として心ならずも取捨選択を迫られるのでした。

非常にづらい仕事でした。ところで、よく考えてみると、「好きだ・愛している」という言葉は、日常は日本人の生活の中でほとんど使われていないのですね。だから逆に、だれにもその「好きだ・愛している」という言葉を一度自分の胸の外に出してみたら

つた、という思いがあるわけです。

この度応募作品のすべてに目を通してみて、一人の人を「好きだ」とか「愛している」という言葉には、大変な重みがあるのだということを実感しました。そしてその言葉の重みが、手紙を書くエネルギーになっているのでは、という感じがしたのです。

男性の場合、五十年代、六十年代、七十年代という年配の方々からの手紙もたくさんありました。この年代は当然のこと、そこにあの戦争がからんできます。戦争をはさんで、今から五十年、

だれしも一度は、愛しているの

一言を吐露してみたい

六十年前の日本の男女交際の状況は、今ではとても想像し得ないほどの大変な時代でした。

日本の男性はだれしもすべてを投げうって、戦場に出てお国のために奉仕しなければならぬと、教え込まれていました。しかし、その徹底したマインド・コントロールにもかかわらず自分の本心をあの人だけに残しておきたいという気持ちは、戦場に消えていった数多くの若者の一人ひとりの胸にあつたのです。

いよいよ戦争に行くことになった。あるいは出撃の前夜を迎えた。そこで、今までの思いを手紙に託してあなたに残したい。この手紙は、実際には出せなかつたという場合が多いのですが、それを改めてここに発表する、という形のものも多く見られました。

もちろん若い人には若い人なりに、筆を執ることで、八百字の中に、身近な人への思いを見事に凝縮させた作品もありました。

全体を通して感じたことは、愛というもののもつ力の不思議さ、そして愛というものを表現するための手紙というメディアの力強さです。手紙に表された文字、言葉の力を信じて、訴える力を信じて、手紙を自ら筆を執って書く、そのすばらしさを改めて実感して、今、年賀状をしたためています。

末筆ながら、今年もよい年でありますように祈ります。

平成七年一月十五日

白鳥邦夫



秋田県ゆかりの審査委員（左から）内館牧子さん、西木正明さん、白鳥邦夫先生、島森路子さん、佐藤嘉尚さん

平成六年度能代高校東京同窓会総会開催

平成六年十月七日・午後五時
於 茗 溪 会 館

第一部 講演会
第二部 総会
第三部 懇親会

第一部 講演会

執熟年からの健康

関根市男氏 新制十一期



新制十一期の関根市男でございます。本日は熟年からの健康ということで、特にその中でも脳卒中と、虚血性心疾患、心臓病ですね、それらに共通している症状、カイロプラクティック治療を行っている私の所見ですが、非常に症状が似ておりまして、これについて述べていきたいと思っております。

なお本日、この機会を与えて下さった関係各位のみな様に心から感謝申し上げますと共に、来賓各位のみな様、諸先輩のみな様を前に、高

い所から申し述べますことは、はなはだ懣越でございますが、あしからずご容赦下さい。

まず能代が、市政施行なさったのは、市長さん、十五年の十月一日でしたよね。巷では、市政施行の祝賀会で非常に沸いておったということですが、ちょうどその日、その時刻にうちの母親が、「おめでたでございませう。三カ月ですよ」ということであつたそうです。そこで親父はもちろん家族一同、これは能代市の授かり物ではないかということ、生まれたら、男だつたら国のためでなく、市のために尽くす男になつてもらいたいということ、つけた名前が、市の男で関根市男ということ、ございませう。ひとつ今後とも市のためにということ、お見知りおきを願ひたいと思ひます。

ところが、十八歳と三カ月です、親の願ひとは裏腹に、縁がありまして、航空自衛隊に奉職いたしました。以来三十五年、全く親不孝を重ね、能代不孝という言葉はないでしょうけれども、能代不孝を重ねております。そのうち市のためにと心に念じながら、本日に至つておりますけれども、市長さん、そのうちに、そのうちにございませう。よろしくお願ひします。

で、航空自衛隊の私がですね、何でお前がカイロプラクティックやっているんだとよく質問受けるのでございませう。これについては、三十四歳の時、ちょうど働き盛りでございませう、この時ギククリ腰をやりました、椎間板ヘルニアで完全に下半身不随になつてしまつたんです。以来四年間、寝たつきりの生活を送りました。これが昭和五十年の九月でございませう。とこ

ろが私、血を見るのが嫌いでございまして、もう切られるのがいやで、お願いいたしました。逃げようように病院を無理矢理退院しました。それが五十四年の十月の末、以来七カ月間こんな格好で苦しんでいた訳です。で、何でこうなつたかという原因でございませうが、ご年輩の方はご存知と思ひますけど、航空自衛隊といひますとスマートでございまして、私の仕事というのは飛行機の誘導管制なんです。座つたまま商売できるような楽な仕事です。けれども、生まれ育ちは戦中ですから、鬼畜米英で育ちまして、柔道、剣道、銃剣道、居合道、というのが私、得意でございまして、銃剣道のやりすぎで腰を痛くしたんです。なつかしい人もいると思ひますが「エイ！ ヤー！……」って、これで腰を痛めてしまつたんです。

それでまあ、七年間苦しんだ訳ですけど、いろいろな治療をしてその結果何を待たのかといひますと、このままで終わらたくなかない、ということ、必死になつて腰痛とは何か、腰とは何かということを深く勉強するきっかけとした訳です。それで、アメリカではカイロプラクティック大学というのがあつて、そこに脊椎神経専門の医者さんがいることを知つた訳ですね。それで、一生懸命捜して、五十七年の七月、やつとその先生に巡り合つて治療して頂いて健康を取り戻したと、こういうこととございませう。それから私がその道につつこんだ訳です。

ところで、カイロプラクティックについて、ちよつとご説明いたします。

約百年前、アメリカのダニエル・デビット・

パーマーさん、ダビット・パーマーともいいませんが、その先生の召使いが耳が不自由で完全に聞こえなかったそうです。それで他の召使いに聞いたところ一旦那樣、アイツは小さいときに高い所から落つちて耳が聞こえなくなつた」ということであつたそうです。診察したところ背中にコブが二つあつたそうなんです。しかし、部品のほうは全く悪くないし、脳もしつかりしてゐる。もしかして、背中のコブを直せば耳も直るのではないかというので、押したり、引いたり、ねじったり、曲げたりしてゐるうちに耳が聞こえちやつた。いろいろな文献を調べましたが、このような治療法はない。「これ、オレが世界で初めてだぞ」ということで、名前つけなさいいけない。古い文献をみたところ、古代ギリシアの洞窟の中に簡単な、線で描いたような彫刻があつたのです。手当てをしてゐる彫刻なんです。病んでゐる人に手を当ててゐる。なるほど、医療の原点はこれだ、薬じゃない、手当てだと。痛いといえば手を当てる。ということ、ギリシアの言葉に敬意を表しまして、

「カイロプラクティック」ということで学会に発表して一世を風靡した。約百年前のことです。これが経緯でございます。要するに薬は使いません。例えば熱を加えたり、水で冷やしたり、あるいは電氣を通したりとこういうことはしますけれども、薬は使わない。これが二十一世紀の医学ということで、一種のブームになつております。

ちなみにアメリカにはカイロプラクティックを教える大学が十七ございます。公立が十四、私立が三つ。それぞれ予科が二年ありまして、品行が良くない人が落とされ、それから本科に四年進み、インターン一年計七年で国家試験で、国家が認めますので、当然、医療保健も

適用になるといふ非常に権威の高いものがございます。このほか国際的には、イギリス、ドイツ、それからオーストラリアのシドニーにもカイロプラクティックの大学があります。お隣の韓国にも大学がありまして、(日本人も)一緒に勉強させてもらつてゐます。

日本はどうかといひますと、取り締まる法律がないものですから、だれでもどこでも、昨日まで八百屋のおばさんで、今日からカイロプラクティック師という人がたくさんいます。ですから(先生により)質の違いが非常にありまして、上は博士、大臣クラスをお世話する先生、政治家の偉い人にも私の所に来られる方もおりますが、反対に非常に乱暴で、さわつたところを壊してしまうような先生もいるそうです。

話は飛びますが、この仕事で感じたことを簡単に申し述べさせて頂きます。今、どこの治療所に行つても忙しいものですから、患者さんとのふれあいがなく、説明不足で(患者さんが)不安に思つてゐるといふことです。その上、説明がないのに「はい、薬です」といわれるものですから、「これは、なんの薬だろう」と非常に不安です。慢性の病は長くかかりますので、同じ薬を何度も飲んでゐるうちに、不信感、不安感ますます募ります。じゃあ、私の病を直せるのはどこなんだろうといふことで、みなさんいろいろな所へ行かれて、最後には宗教団体に行かれる方もいるのでございますが、やつとそのころになつて、私の所に相談に来るのだなといふのが実感でございます。

ところで、この中で、「オレは健康だよ」と思われる方おられましたら拳手願ひたいのですが……。誰もおられない……。あつ、一人、二人おられますね。WHOには「健康とは」という定義があります。「単に疾病や虚弱でないといふだけでなく、肉体的、精神的、並びに社会的に

完全に良好な状態である」といふことなんです。ですから肉体的に健康でも例えば精神面で、すね、会社で部長になり損ねたとかね、人間関係が悪いとか、子供の養育問題で悩んでゐるとか、夜寝れないとか、娘の縁談とか……。こういうのは絶対、健康的じゃないのです。ところが、今ここにお集まりのみな様、お顔を拝見致しますと大体私よりご年輩の方でございます。人生五十年をお過ごしになつた方が多いように思われます。もう喜怒哀楽の五、六回は体験なさつた方々だと思ひます。で、ひ弱な方は例へば、恋に破れて首吊つたり、病を氣にしてもう直らないのではといふことで自殺を考えたりますね、友達連帯保証人で借金苦にして首吊ろうかとかね、そんなことがあつても、失礼ですが、先輩のみな様方は恥を恥とも思はず、苦勞を重ねても厚かましく、図々しく生き延びて、もう精神的には絶対に病んでゐない。人生の達人でございます。

苦勞だつたらオレに聞けといふようなベテランばかりであらうかと思ひますが、ところが肉体的にはいかんせん、人生五十年も過ぎていればロボロボになつてきます。で、何が起りますかと申しますと、これは成人病ではなくてはつきりいへば老人病なんです。敬老精神でゴマすつてゐるんです。精神的に厚かましく、たくましく生きてきたけれども歳を経ても、これはもう老人病でございます。その中でも一番の死亡率の高いのがガン、その中でも肺ガン、胃ガンが多い。二番目に卒中、三番目に心臓発作、ボックリ病。成人病には七つ認定されておりますが、これが三大成人病と呼ばれるものでございます。さあ、精神的にはたくましく、今まで生き延びてきましたけれども、あと三十年、四十年生き延びたらなにが待つてゐるのかといひますと、第一のコース、あらゆるガ

ン。第二のコース、これの好きな人は脳卒中。どれを選びますかと、こういう現状なんです。じゃあこれを防ぐのはどうしたらよいかというのが、今日のメインテーマでございまして、まだ七分ございまして、ひとつお付き合い頂きたいと思ひます。

先ほどいいました三つ、交通事故とか、首吊らない限りは大体この三つ、ガンと脳卒中と心臓病ですが大体こちらで終末を迎えるわけですが、では、ガンで逝つたほうがいいという方ちよつと手を挙げてみて下さい。いますか。どうせこの三つで死ぬんだつたらガンがいいと思われ方誰もいませんか。じゃあ、卒中で逝きたいなと思われ方は。ポックリ、もうひと思いに。ああ、若干。それでは、心臓発作で逝きたいと。もうこの三つしかない、お迎えは。ああ、意外と多いですね。わかりました。

縁起でもないと思ひでしようが、いつか、それも一度しかないですよ。死ぬのはたつた一回でございまして。よろしいですか、ガンほどいい別れはないのですよ。例えばですね、「ガンです。末期ですね。あと三カ月です」とある日、ある時告知されたとしても。そうすると、発想の転換で、幸運と不運をクルンとひっくり返しますと、「あつ、ガンか。あと三カ月か」と思えばまだ三カ月生きられる訳です。ところが、卒中と心臓病はポクツときたらボンと逝つちやうんですよ。もし本当に、一瞬の間にポロツといった場合は本人は楽かも知れませんが、しかしですね、死んだ後に恥さらすこともたくさんあると思ひますよ。いつ逝つてもいいようにと準備ができている人なんてまずないと思ひます。例えば、婦人問題を片づけておかないと必ずあとでこうなつてくる。あと、自分だけの趣味で隠しておいたHなビデオなんかが出てきたりしたら困るわけですよ。それから亡く

なつたあとで、贈与の問題で骨肉相食むような喧嘩になつても困る。ということ、心臓病と脳卒中なんかで逝つたら大変なんですよ、残つた者が。それに今は医学が進歩したから、コロツと逝かせてくれないんですよ。自分では始末できないくせに、三年も五年も苦労かけるんですよ。そして、死ぬといわれて最後には捨てられちやう。

ガンの場合がなぜいいかといひますと、三カ月といわれながらしつこくしがみついて半年生きたとしますよ。そうすれば一ついいことがある。もし保険に入つていたならば、生きているうちに贅沢三昧ができると、こういうこととございまして。そういう保険が今、できているんですよ。これが第一条。第二条、子供たちに思ひつきり親孝行させてやる事ができる。お父さん、あと三カ月だからつて松茸のおいしいのを持つてきてくれる。お父さん、海外旅行行こうなんて一生懸命親孝行してもらえ。子供にとつて、これ大切なことですよ。第三番目に、死に恥さらさずに、女性問題から借金まで全部きれいにできると、こういうこととございまして。だからガンだからつて怖がつてはいけません。それで、今日のメインテーマに移ります。これらの老人病をカイロプラクティックでどう防ぐかということ。まず高血圧。これは、お医者さんの分野で、この間も学会で発表がありました。百人に九十人、九割近く、八十数%とはつきり決めていきましたが、原因はわかりません。そのわからない病名を、本態性高血圧と呼んでおります。それ以外の原因のわかる高血圧はわずかに十%たらず。あとはわかりません。わからないからとりあえず血圧を下げる薬を飲ませてくれますが、今はいいい薬ができておりますが、以前は副作用がありまして、そういう患者さんがたくさん私の所へ相談に来まして。

そんなことで、私、はつきり断言できません。とは、脳卒中、高血圧、あるいは心臓発作で弱つていの方は、心臓の上、鎖骨の下、鎖骨下動脈といひますが、このところがだいたい固い。胸の第二ボタン、このところがちよつとさわつてみて、初めは痛くないけれど十回ぐらい揉んでみると、キーッと焼け火箸を刺すような痛みが出ます。これがもう、共通です。第一番目、双頸動脈、頸骨動脈、首つかんだこの、喉仏の後ろのところがガチガチに固い。これは、交通事故やると頸椎損傷になりますね。それから、柔道とか剣道で突き食らつたとか、ラグビーとかそういう選手。何もない人でも、頭の重さというの人は人によつて変わりますが。ところが歳とつてくると頭の重さは同じでも、首が弱つてくるのです。だからガクツときた途端に首がずれる。これをむち打ち症という。これ、交通事故だけじゃない。くしゃみやみした途端にガクンといつたらウー。五十過ぎるとこうなつちやうんです。くしゃみやみ一発むち打ち症。

典型的に説明します。隣の人を見てみて下さい。まず、この首のうしろ、三段腹じやなく三段首になつていいる人、これは危ないです。いいですか。それから、肩の付け根、このところが何かこう豚肉の脂みたいに水ぶくれになつていいる人、これは心臓発作危ないです。それで、第二胸椎、首の骨から二つ下、これが心臓に行く神経が全部通つているところです。カイロプラクティックでこれを直しますと、不整脈・狭心症一発で直ります。ということ、ここを自分でさわつて柔らかくしておきますと、今日のテーマである、「ガンは怖くない」ということですね、これを防ぐことができます。さあ、それではそれを防ぐための体操です。まず、背伸びをすることです。姿勢を正しくして、疲れたといつて、ダラーンとしていいると、

首はものすごく重いんです。だから疲れたなと思つたら大きくあくびをすること。背骨がキキキってすごく気持ちいいです。新鮮な空気もたくさん入ってきます。

で二つ目。このしやれこうべのところを回すことです。首じやない、この所から最終的に脳につながっていますから。これの体操をお勧めします。一つ背伸びですよ、二つしやれこうべを回す。ハイッ、回し方です。手を組んで首の後ろに添えて下さい。こうです。これを軽くクックと押しながら自分で首を回します。ハイッ、横回し。気持ちいいですね。しやれこうべ、もつと回りますね。このところを柔らかくすれば、非常に楽になって血圧三十ぐらいスツと下がります。

じゃあ、日頃のように注意するか。あと残り時間五分でございまして最後のテーマになります。これは、いつも、どこでもいわれていることですが誰もやらないですね。病気になるからやるんですけど、まず偏りのない食事をする。あと、よく減塩食といわれていますが、私たちは塩をたくさん食べなさいといっております。減塩の恐怖という本もあります。塩を食べて、いい水を飲むと体の中で溶けて、例えばアトピー性皮膚炎を直すのに非常に成果を上げています。アトピー性皮膚炎は私の所で直せます。塩と水ですよ、それに偏りのない食生活。それから、運動の後には心身の調整。みんな駆け足やるんですね。そのとき、体重の四倍の重さが片足にかかりますから、足首とか軟骨とか全部にガタがきます。あんな運動はやらないほうがいい。やるんだったら自転車です。座ったままで筋肉とか、関節の運動量がものすごく

多いんですね。背骨にも負担かからないし。それよりも水泳。泳げない人は水の中で歩くだけでもいいです。ちよつと泳げる人も無理しないでいいです。補助につかまって、自分の体力に応じてバタバタやればいいです。こういうふうな運動が非常にいいわけです。

それから、どうしても足腰が疲れるという方はこれはどこから来ているかといえますと、足の中が疲れる。アキレス腱。ですから、アキレス腱をこういうふうには伸ばせばいいのです。

あとゴルフで腰痛めた方は、腰は直しません。ここ、ももの後ろ、ボン。これで直ります。これは企業秘密ですが、治療すると一万五千元とります。それからゴルフなさる方はですね、ゴルフ下手な方は練習中に力まれますから、練習場でプツンと切れるんですね。アドレスすると心拍数一四〇ぐらいになるんですね。血圧もグンと上がっている。でも日本のゴルフ場にはなかなか救急設備がない。百あるうちの五ぐらいしかない。それもちよつとした診療所で赤チンぐらいいかない。ですから、これからゴルフ行かれる方は携帯電話ですね、これをお持ちになつて、具合悪いなと思つたら、一一九番呼ぶことですね。それより、あまり勝つた負けにこだわらずに楽しくやるということが肝要かと思われます。

さて最後にいわせて頂きますのは、人間の寿命が延びたのは、歯の寿命が延びたからだといわれています。歯はボロボロになります。歯医者さんのインプラント技術、総入れ歯でバリバリ何でも食べられて、内臓関係も良くなつて健康になると。ですから、歯磨きの励行それと、いい空気を吸うことが大事かと思われます。な

お、タバコはいけません。全部に害が出ます。会社の社長さん、上役、これが自分でタバコを吸うと部下は大変でございます。エイズの方とは一緒に仕事ができますけれども、タバコを吸われますと、これはアウシユビツツの毒ガス室でございます、非常に迷惑、大迷惑でございます。タバコは臭い、しかも自分で吸つたものの三倍の毒を出している、体に悪い。ということで、タバコを吸う方は投げ捨てをしない、それと他人の幸福を思えばちよつと別の所で一服して頂きたいと、こういうのも、これからの熟年を、若い人たちと一緒に仲良く、楽しく生きるためには、そういう小さな心がけも必要かと、このように考えます。

あつ一分過ぎてしまいました。健康というのは何よりの財産でございます。残りのローソクがあつと五十、六十、七十、八十ぐらいかどのくらいかわかりませんけれども

たたら山 出で日のごとく あかあかと
燃やしつくそう 残れる命

こういう歌があります。やはり健康は宝でございます。最後の最後まで人生を楽しく過ごして頂くために、頑張つて頂きたいと思ひます。ご清聴ありがとうございます。

どうもありがとうございます。もつともお聞きしたいのですが時間の都合もありまして、。なお、関根さんは来年の春定年退官となりますが、その後都内で治療院を開設するという予定もあるそうなので、また頑張つてもらいたいと思ひます。引き続き第二部・総会に移らせて頂きます。

第一部 総会

●開会の挨拶●

秋田県立能代高校東京同窓会会長

小林 肇氏 旧制十九期



みなさん、お晩です。本日は秋田県立能代高校東京同窓会総会を開催するにあたり、ご案内いたしましたところ、多数の方にご参加頂きまして、誠にありがとうございます。そしてわざわざ能代のほうからは、本部の統副会長をはじめ、鈴木能代高校教頭、事務局から佐藤先生、本年度卒業生の学年主任を担当されました宮腰先生、やはり新卒を担任なさいました京先生にお運びを頂いております。

また私ども恒例の恩師ご招待には、今年は草薙先生、加賀先生にお越しを頂いております。さらに私ども東京では、同郷の方々との親睦交流を兼ね、いろいろな情報交換をすることでそれぞれの同窓会の向上を図るべく、われわれもそれぞれの同窓会に顔を出させて頂くと同時に、

何のおもてなしもございませんが、われわれ同窓会の素顔をお見せすることにしております。そこで、それぞれの会の幹部のみな様に、わざわざご足労を頂いております。本日はお忙しいところ、本当にありがとうございます。

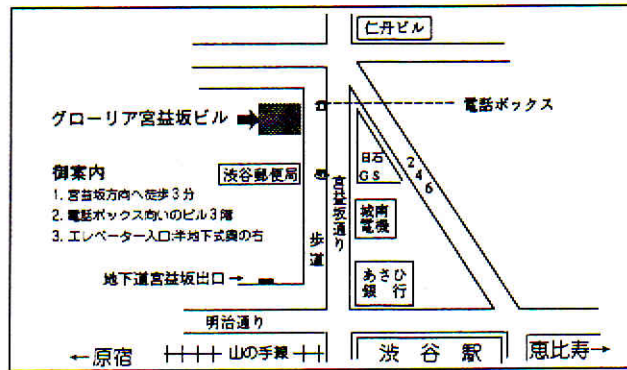
さて、本日は会の冒頭から悲しい報告をしたければなりません。今年四月七日、板倉創造前会長がご逝去なさいました。まだまだご指導を仰がなければ、われわれの一人歩きはおぼつかないと思っておりましたが、一人先立たれてしまわれました。享年八十でございます。

前会長は、昭和五十一年に能代高校同窓会東京支部の支部長に就任しましたが、五六年に能代高校東京同窓会と改称して以来、初代会長として、平成三年までの実に十五年の間、筆舌に尽くせないご苦勞を重ね、東京同窓会の発展に多大な尽力をなさいました。今日の東京同窓会の礎を築かれた、最大の功勞者であることは、どなたも認めるところでございます。ご来場のみな様とともに、深く哀悼の意を捧げたいと存じます。

この会も回を重ねることに、イベントというのでしようか、いろいろ考えながらの運営を行っております。その一つとして、今年で四回目を迎えますが、この春母校を卒業した若い人たちに参加して頂きました。

同窓会の目的は何だろうか。いろいろあるとは思いますが、母校を巣立つばかりで、都会の生活や学校の新しい環境に十分には溶け込みきれない若い人たちの心の支えとなる、これも同窓会の一つの使命であろう。それをぜひ実現させようという板倉前会長の提案を實踐して、今日を迎えているわけです。ですから、若いみなさんは、今後も遠慮なく同窓会を利用してください。何でも相談してください。話は手短かにという司会からの注文もあります

が、最後にもう一つ、昨年も不況をばやいた記憶がございますが、今年も一向にその解消の気配はありません。そんな中であつて、われわれの同窓会はまったく利害関係なく、一年に一边顔を合せて、お互いの健康を確かめ合い、母校や故郷の新しい情報を交換し共有する思い出を懐かしむ。こうして、ふだんの気持ちを和らげることができれば、それが明日へのエネルギーになるのではと考えております。



同窓会の運営というのは、非常に難しいものがございます。しかし、みな様の好意あるご協力によって、東京同窓会は継続・発展して参りました。今日は、第三部におきまして、名古屋芸術大学教授岩森榮助さんによるバリトン・リサイタルもございます。時間の許す限りご歓談を頂きまして、心身を充実させることにお使いください。望外の喜びでございます。これをもちまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。